

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山ファンづくり事業			会計	款	項目	大	小
政 策	05	5 節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	マーケティング課			
施 策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化		主管課長	藤原 睦美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	全国のふるさと納税に興味のある人	意図	流山市へふるさと納税による寄附をしていただくとともに、寄附を通じて当市に興味を持っていただき流山のファンになっていただく。
事業内容	全国に展開する日本でトップクラスの百貨店と連携し、百貨店が全国の顧客宛てに発行しているふるさと納税の返礼品カタログに本市のページを設けPR活動を行うことで、本市へのふるさと納税寄附金額の増加と都市イメージの向上を図るとともに、寄附を通じて流山ファンづくりを推進する。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市ゆかりの品や流山市のイメージにつながる子育て商品など27品目を新たなふるさと納税返礼品として用意し、百貨店のふるさと納税返礼品カタログを活用して平成29年10月から全国にPRを開始した。市外からの申込みが約9割を占め、全国から多くのご寄附をいただいた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	ふるさと納税寄附額			36,159,000	円	↑↑↑
②	総寄附件数			820	件	↑↑↑	
③	市外からの寄附額			32390000	件	↑↑↑	年度内に発注した分の寄付金総額
④	市外からの寄附件数			606	件	↑↑↑	
⑤	流山関連の返礼品			19	品	↑↑↑	
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	流山市の認知度・イメージ向上及び新たなファン獲得に貢献した。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	市外からの寄附は約9割を占めている。			
事務事業の総コスト(a=b+c)			16,960,382	・平成29年度の返礼品総商品数27点のうち、流山関連品が19点となるが、これらが占める寄附額の割合は、約3割となっている。			
事業費(b)(円)			14,275,582				
うち一般財源			14,275,582				
職員給与費(c)(円)			2,684,800				
人役・職員(人)			0.40				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	新規事務事業により記載なし	③取組の課題	市の認知活動を目的にふるさと納税を活用した施策を実施し、市の認知活動及び寄附増額に成果はあったが、今後も継続的な認知活動が必要である。
②今年度(H29)に実施した取組	新規事務事業により記載なし	④今後(H30以降)の改善計画	さらなる地元事業者からの協力をいただき、地元産の返礼品を拡充し、新たな流山ファン獲得による認知度とイメージの向上及び寄附増額を目指す。